

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 12月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族が意見を出しやすいように、具体的な内容の問いかけをしてみたいか。	家族が意見を出しやすい環境を整える。	『何かありますか』等の抽象的な問いかけではなく、日々の様子や介助方法などをお話し、それについて具体的に希望を聞き取れるように問いかけをする。	1ヶ月
2	36	利用者のプライドを傷つけない様、声掛けの仕方や声の大きさ、食事の座席はどうか、日々のサービス提供時の意思の確認がなされているか等も話し合いのポイントにしたいか。	利用者のプライドに配慮できる施設を作る。	①利用者同士の関係も考慮しつつ、他利用者の目を気にせず落ち着いて過ごせる空間を作れるよう席の配置を変更する。 ②利用者のプライドを傷つけない声のかけ方・声の大きさを考えて支援できるようその都度指導し、会議でも全員で課題として検討する。	1ヶ月
3	43	居室内のポータブルトイレや排泄関連用品には布をかけるなどプライドに配慮してほしい。	プライドに配慮された空間で過ごすことができる。	キレイな柄の入った布や包装紙を用意し目隠しをする。	3ヶ月
4	45	入浴を拒否する理由や清拭・足浴の実施についても記録に残してはほしいか。	利用者個々のニーズを把握できる。	メディカルシートの特記事項欄を活用し、入浴の状況について明記する。	1ヶ月
5	49	五感を生かし、足元に注意をしたりおしゃれを意識する機会として日常的に外気と触れ合う支援を期待したい。	社会性を保つことができる。	外気に触れることで季節を感じたり、身だしなみを気に掛けることが継続していけるよう外出の機会を増やす。	12ヶ月

6	52	日常的に外の気配が感じられるよう、工夫をしていただきたい。	日常的に外の気配が感じられる。	閉鎖的にならないよう、日差しが強い時レースのカーテンで全体を遮るのではなく、カフェカーテン等で部分的に遮光できるよう工夫する。	3ヶ月
---	----	-------------------------------	-----------------	---	-----

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。